

平成16年(行ウ)第14号 公金支出差止等請求住民訴訟事件

原告 市民オンブズパーソン栃木 外20名

被告 栃木県知事 福田 富一

証拠説明書

2010(平成22)年4月7日

宇都宮市地方裁判所 第1民事部合議系 御中

原告ら代理人 弁護士 大 木 一 俊



号証	証拠の標目(原本/写し)	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲B 121	判決書 /写し	2009.05.11	東京地方裁判所 民事第3部裁判 官定塚誠外2名	東京都の住民が東京都水道局長らを被告として、ハッ場ダムに関する負担金の支出差止等を求めた住民訴訟の判決内容 「河川の流下能力が徐々に増大し、従来上流で氾濫していた洪水が河道により多く流入しやすくなり、下流での氾濫の危険性が高まったこと、また、都市化による流域の開発が上流の中小都市にまで及び、洪水流出量を増大させることになったことなど、昭和24年2月の利根川改修改定計画から30年が経過して利根川を取り巻く情勢が一変した(中略)他にカスリーン台風以後の利根川の流域の経済的、社会的発展による出水状況の変化が八斗島地点の洪水流量を増加させることを認めるに足りる証拠はない。」と事実を反する認定をしていること等。
甲B	「ハッ場ダム住民訴訟に関	2008.10.22	国土交通省関東	前橋地裁におけるハッ場ダム住民訴

122	する関係県からの意見照会に対する回答について(参考送付)」と題する書面 /写し		地方整備局河川部地域河川調整官	<p>訟で被告から提出された乙第278号証の1。</p> <p>八斗島地点のピーク流量毎秒2万2000m³は、将来の河道を想定した計画値で、現況の河川管理施設の下では、計画降雨があっても、ピーク流量は毎秒1万6750m³に止まること等。</p>
甲B 123	「調査属員について(回答)」と題する書面 /写し	2008.01.10	国土交通省関東地方整備局河川部地域河川計画課	<p>さいたま地裁におけるハッ場ダム住民訴訟での調査属員に対する回答。</p> <p>八斗島地点のピーク流量毎秒2万2000m³は、ダムなしという想定のほか、上流域の利根川本川と烏川本川の複数地点、烏川の支流の鍬川と井野川など7地区(法線)において、1~5mの堤防嵩上げや新堤の築堤が想定されていること等</p> <p>烏川を含む利根川上流域では、甲B123で想定された川など7地区(法線)において1~5mの堤防嵩上げや新堤の築堤が想定されていること等。</p>
甲B 124	基本高水「八斗島地点毎秒2万2000m ³ 」のための改修状況調査報告書 /写し	2009.11.26	弁護士高橋利明	<p>1都5県で提起されたハッ場ダム住民訴訟の原告弁護団長の弁護士高橋利明らが、2009年6月20日から同年10月31日まで8回にわたり利根川上流域の堤防の嵩上げ、築堤状況について現地調査を行った結果の報告書。</p> <p>烏川を含む利根川上流域では、甲B123で想定された1~5mの堤防嵩上げや新堤の築堤等の河道改修お台と行われていないこと等。</p>
甲B 125	証人調書 /写し	2008.07.ころ	水戸地方裁判所 速記官千葉真由美、平塚昌子	<p>水戸地裁におけるハッ場ダム住民訴訟での河崎和明元関東地方整備局河川部長の証人調書。</p> <p>カスリーン台風時の上流での氾濫を</p>

				調査した資料も存在せず、浸水想定区域図を作成した際にも、調査が行われていないこと、河川基本方針に対応する河道整備の目標年次はないこと等。
甲B 126	準備書面(21) /写し	2009. 01. 16	弁護士伴義聖	前橋地裁におけるハッ場ダム住民訴訟で被告から提出された準備書面(21)。 同訴訟における被告が、八斗島地点のピーク流量毎秒2万2000m ³ は将来の河道を想定した計画値で、現況の河川管理施設の下では、計画降雨があっても、ピーク流量は毎秒1万6750m ³ に止まる等と主張している事実。
甲B 127	「ハッ場ダム建設事業について(回答)」と題する書面 /写し	2006. 09. 28	国土交通省関東地方整備局長中島威夫	前橋地裁におけるハッ場ダム住民訴訟で被告から提出された乙第198号証の1。 同書面では、八斗島地点のピーク流量毎秒2万2000m ³ は、将来の河道を想定した計画値であるとする説明はなかったこと等。
甲B 128	利根川氏百年史(抜粋)・写し	1987. 11. 24	財団法人国土開発技術研究センター	カスリーン台風後に計画された利根川上流域の都市化がすべて計画通りに実行されても、そのことによる利根川への流出増加は、毎秒100m ³ とされていること。
甲B 129	東京新聞(抜粋)・写し	2010. 01. 12	東京新聞	関東地方整備司河川計画課は、東京新聞の取材に対し、「八斗島上流域の氾濫防止のための堤防かさ上げ改修工事については、想定工事ではなく、計算のための断面図を仮設定したものである」旨回答していること等。
甲B	東京新聞	2009. 11. 27	東京新聞	東京新聞が記者を現地へ派遣して、

130 の1 ～3	(抜粋)・写し			利根川上流域での堤防嵩上げ等の改修状況の有無を確認した上で、「最大流量は過大」「『ハッ場』前提崩壊?」との見出しの下に、「堤防改修工事の大半は手つかず」と報道していること等。
甲B 131 の1	行政文書開示請求書	2009. 11. 27	嶋津暉之	嶋津暉之氏が2009(平成21)年11月27日に関東地方整備局長に対し、八斗島地点のピーク流量毎秒2万2000m ³ の前提となる改修工事を想定した上流域13地点の河道断面図の具体的地点を明らかにするよう情報公開請求を行ったこと。
甲B 131 の2	「調査嘱託について(回答)」と題する書面 / (抜粋) 写し	2008. 01. 10	国土交通省関東地方整備局河川部地域河川計画課	上記請求書に添付した資料。 甲B123の抜粋
甲B 132 の1 及び 2	公文書開示決定通知書 及び別紙 / 写し	2010. 01. 28	国土交通省関東地方整備局長	上記甲B131の2に対する回答 13断面のうち国の管轄区間の3断面及び群馬県管轄区間の7断面の開示はしたが、群馬県管轄の残り3断面の開示はなかったこと。
甲B 133	行政文書不存在決定請求書 / 写し	2010. 02. 03	群馬県知事大澤正明	嶋津暉之氏が、2010(平成22)年02月01日、群馬県知事に対し、上記甲B132で開示されなかった残り3断面について、具体的地点を明らかにするよう情報公開請求を行ったところ、不存在決定がなされたこと。